

政務活動費調査研究報告書

提出日 6 . 10 . 11

事業名	全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡		
会派名	自民党・新政クラブ	報告者	中村一夫
参加者	中村一夫		
区分	☒ ①研修 ☐ ②視察 ☐ ③広聴 ☐ ④その他()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日時	訪問先、会場、主催者等
	① 10月9日(木)	全国市議会議長会 盛岡県民会館
	② 10月10日(金)	//
	③	
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	全国市議会議長会主催の研究フォーラムに出席し、地方議会のかゝる課題を研究し、理解を深め、それを市政に生かすため。	
内容	大会テーマ 「主権者教育の新たな展開」 (X) 詳細は別紙	
成果等 (市に活かせること等)	別紙	
事業費	49,764 円 (旅費・参加費)	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

○全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡に出席してきました。

10月9日(水)から10月10日(木)の二日間、岩手県盛岡市で開催された、全国市議会議長会主催の研究フォーラムに出席してきました。今回の研究フォーラムは、「主権者教育の新たな展開」というテーマで行われました。

初日は、研究者、マスコミ関係者、主権者教育をサポートしている一般社団法人の代表者とともに、開催市盛岡市の市議会議長がパネラーとして登壇し、パネルディスカッションが行われました。「主権者教育」は決して学校教育だけで行われるものではありませんが、多くの場合、学校での「政治教育」との関係で議論されてきました。学校で「政治教育」を行う法的根拠は、教育基本法第8条に規定されています。法律的にも学校での政治教育は「尊重しなければならない」ことになっているのですが、同時に「法律に定める学校は、特定の政党を支持し、又はこれに反対するための政治教育その他政治活動をしてはならない」(教育基本法第8条第2項)とも規定されていて、政治教育には「政治的中立性」が求められています。「政治教育」の尊重と中立性はともに重要なのですが、とにかく、「中立性」が強調されるあまり、長きにわたって学校での「政治教育」は敬遠されがちでした。しかし、民主主義社会を維持し、発展させていくためには、次世代を担う主権者を育てていくための「政治教育」は極めて重要であると認識されるに至り、遅まきながら、昨今「主権者教育」という名称で「政治教育」がすす

められるようになりました。しかし、多くの場合、学校で行われる「主権者教育」は「模擬投票」のような疑似体験や、良くて意見交換といったものに終始しているくらいがあり、今回のパネルディスカッションでも大方そういった「手法」や「方法論」について取り上げられていました。私は、「主権者教育」とは「民主主義の教育」そのものであると考えています。したがって、まずは、「民主主義」とは何たるか、「住民自治」とは何たるかをしっかりと教える必要があると思っています。当然、その過程では、いかにして我々が「民主主義」を勝ち取ってきたかを理解する必要があります。ここが肝心で、「民主主義」がいかに大切かという理解のないままに、いくら民主主義への参加の「方法」を教えても意味がないと思います。今回の研究フォーラムではその辺りの議論が深まらなかったことを残念に感じました。

大和市での「主権者教育」については、以前に一般質問でも取り上げました。本市は、明治の自由民権運動が熱心であったという歴史もあり、近代民主主義の歴史について学べる素材があると考えています。お隣の町田市には、「市立」の「自由民権資料館」があります。本市でもそのような施設を設置して、近代民主主義を学べる環境を整備できると思います。また、本市には自治基本条例があり、16歳以上に住民投票権を付与しています。ということは、16歳までに住民投票を行えるような政治教育を行うことが求められているということです。本市は、

自治基本条例制定から 20 年がたっているにも関わらず、こういった観点での政治教育を怠ってきました。早急な対策が必要であると思います。

「主権者教育」は本来的な議会の仕事ではないかもしれませんが、生きた「民主主義」を子どもたちに直に見てもらうことは、重要なことだと思います。これからも議会での真摯な議会活動を通じて、それが次の世代への「主権者教育」にもつながればと思っています。

政務活動費調査研究報告書

提出日 R6・11・13

事業名	品川区ロジックモデル研修について		
会派名	自民党・新政クラブ	報告者	西田恵美
参加者	西田恵美		
区分	☐ ①研修 ☒ ②視察 ☐ ③広聴 ☐ ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	令和6年11月12日	品川区役所 14時00分～15時00分
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	ロジックモデルが政策評価やEBPMの基礎となる考え方であることは、認知が広まってきたところであるが、本市職員の間ではロジックモデルがうまく活用されていないと感じている。品川区におけるロジックモデルの職員研修について学び、本市の課題解決のためのヒントとする。	
内容	品川区での人材育成事業の一環として実施されているロジックモデル作成研修の内容について学ぶ ・ロジックモデル研修が実現した経緯 ・ロジックモデルの研修概要 ・職員の方からの反応 ・今後の活かし方について	
成果等 (市に活かせること等)	ロジックモデルが単にアウトカム設定のための手段ではなく、多様な関係者との対話を通じた知識創造のツールであること、政策の戦略性の向上、認識共有と組織風土の変革にも寄与すること等々、事業の概要説明をいただくことで深く理解することができた。職員の方々が、自身のかかわる事業について主体的に考えることが極めて大切であるので、本市でも日々の業務の中で、ロジックモデルが活用できるような実践的な研修制度ができるよう、所管と議論を重ねていきたい。	
事業費	3,964 円 (交通費・手土産代)	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

政務活動費調査研究報告書

提出日 R6・11・18

事業名	多摩住民自治研究所 よくわかる市町村財政分析		
会派名	自民党・新政クラブ	報告者	西田恵美
参加者	西田恵美		
区分	☒ ①研修 ☐ ②視察 ☐ ③広聴 ☐ ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	11月17日(日) 13:00~16:30	NPO 法人 多摩住民自治研究所
	11月18日(月) 9:30~16:00	都立多摩図書館セミナールーム 2
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	類似団体比較カードや財政状況資料集から、自市の財政状況を知り今後の課題や展望を学ぶ。地方財政の健全化に何が大切なのか、それぞれのデータが示す本来の意味を考え、正確な判断ができるようそのポイントを学ぶ。	
内 容	(1) 議員・市民が財政を学ぶ意味 (2) 収支状況をつかむ (3) 歳入の仕組み (4) 歳出の仕組み ①性質別歳出 (5) 歳出の仕組み ②目的別歳出 (6) 財政指標を用いた自治体分析 (7) 地方公共団体健全化法と健全化判断比率の真意を探る	
成果等 (市に活かせること等)	財政状況資料集を読み解くためのヒントを学ぶことができた。決算カードよりも委細なデータが記されている財政状況資料集について、実際に手を動かしながら数字を見ていくことで、独学だけでは気づけない数多くの視点を得た。自治体の財政は専門用語が多く、読み方も非常に独特であるため、日ごろから意識してブラッシュアップし続けることが必要であると感じている。市民利益にかなう質問ができるよう、財政に関する知識は特に力を入れて継続的に学んでいきたい。	
事業費	29,381 円 (①研修費 27,000 円、②振込手数料 165 円、③交通費 2,216 円)	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

政務活動費調査研究報告書

提出日 R6・12・10

事業名	急増する非正規公務員と住民福祉		
会派名	自民党・新政クラブ	報告者	西田恵美
参加者	西田恵美		
区分	☒ ①研修 ☐ ②視察 ☐ ③広聴 ☐ ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	11月13日(火) 12時50分～16時40分	オンライン受講
	12月10日(火) 9時00分～15時30分	オンライン受講(オンデマンド)
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	非正規公務員の現状と福祉事務所等の社会福祉専門職等の交付税処置等について理解を深める	
内 容	1) 自治体の責務と自治体職員の役割」 █████ 氏 2) 「会計年度任用職員について」 █████ 氏・█████ 氏 3) 「公務員志願者激減と増加する専門職非正規公務員という問題」 █████ 氏	
成果等 (市に活かせること等)	非正規公務員のおかれた厳しい現状について、実践報告を通じて委細に知ることができた。今後、地方自治体の持続可能性が大きな問題となるなかで、非正規公務員の方々の処遇改善は喫緊の課題である。これからの行政が何をしなければいけないのか、非正規公務員の現状も踏まえたうえで、政策提言につなげていきたい。	
事業費	25,165 円 (①研修費 25,000 円、②振込手数料 165 円)	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

政務活動費調査研究報告書

提出日 R7・1・26

事業名	学びの多様化地方議員連盟主催 「川崎市子ども夢パーク視察・多様な学びプロジェクト特別公演」		
会派名	自民党・新政クラブ	報告者	西田恵美
参加者	西田恵美		
区分	☒ ①研修 ☐ ②視察 ☐ ③広聴 ☐ ④その他（ ）		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	1月22日 10時～12時30分	川崎市子ども夢パーク 学びの多様化地方議員連盟主催
目的 （どのような課題を解決するためかなど）	子ども夢パークは、川崎市の「子どもの権利に関する条例」に基づき2003年に設立された、子どもの自由な遊びと学びの場。水遊びや泥遊びができるプレーパーク、音楽スタジオ、ログハウスなど多様な設備を備える。また、学校に居場所を見出せない子どものための公設民営のフリースペースも併設する。所長の■■■■氏による夢パークでの具体的支援の取り組み、不登校のネガティブなイメージ解消に取り組む■■■■氏のご講演をうかがう。	
内 容	現代の子どもたちは過干渉によるストレスにさらされていること、大人の「良かれ」が子どもの自主性を奪っていることなど、■■■■氏からお話をうかがう。子ども夢パークでは、遊ぶ権利を重視し、自由な挑戦の場を提供しており、「ケガと弁当は自分もち」という教えを通じ、学びと自立を促している。また、不登校支援では「学校に戻す」ことを目的とせず、子どもが安心して過ごせる場作りを重視している。■■■■さんの活動では、不登校が命を守るとの視点にたった多様な居場所の作り方の取り組みの紹介があった。	
成果等 （市に活かせること等）	子どもの居場所づくりと一口に言っても、その場所が意味ある場所となるためには、組織の理念が大切であることを改めて再認した。特に不登校の子ども達の居場所づくりについては、単に場所を提供するだけでなく関わる支援者の力量が試されると考える。夢パークに通う不登校の子ども達は、そのほとんどが高校、大学進学を自ら選択するという。本市で不登校支援に関わる方々の意識について、議会質問を通じて質していきたい。	
事業費	3202 円（旅費・参加費）	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

政務活動費調査研究報告書

提出日 R7・2・10

事業名	議員の学校 第55回・森裕之先生の自治体予算集中講義・～どこよりもわかる新年度予算審議のツボ～		
会派名	自民党・新政クラブ	報告者	西田恵美
参加者	西田恵美		
区分	☒ ①研修 ☐ ②視察 ☐ ③広聴 ☐ ④その他（ ）		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	1月16日(木) 12時50分～16時30分	オンライン受講
	1月31日(金) 10時00分～16時10分	オンライン受講(オンデマンド)
目的 どのような課題を解決するためか など	令和7年度予算審議に向けての事前学習	
内 容	自治体財政の基本のすべて 2025年度の地方財政計画と自治体の予算 予算審議のポイントと今後の自治体財政 社会保障関係制度の改革と私たちの暮らし	
成果等 市に活かせること等	財政の基本知識のおさらいとともに、令和7年度の予算審査のポイントを学んだ。国の地方財政計画をもとに、公共施設等適正管理推進事業債、デジタル活用推進事業債等、地方債のメニューの内容を学んだ。公共施設の統廃合、DXは本市にとって喫緊の課題である。骨太の方針2024のなかでも、広域行政が強調されている。起債の可能性について委員会等で質していきたい。	
事業費	25,165 円 (①研修費 25,000 円、②振込手数料 165 円)	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

政務活動費調査研究報告書

提出日 R7・02・18

事業名	水道情報活用システム 情報交換会		
会派名	自民党・新政クラブ	報告者	町田 浩文
参加者	町田浩文		
区分	☒ ①研修 ☒ ②視察 ☐ ③広聴 ☐ ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	令和7年2月17日(月) 13時00分～17時00分	TKP ガーデンシティ PREMIUM 名古屋新幹線口 バンケットホール7A 主催：一般社団法人 水道情報活用システム標準 仕様研究会
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	利用者の負担や国・県などの補助金を前提に成り立っている上下水道事業のビジネスモデルが崩壊しつつある。利用者負担の値上げ⇒使用量の減少⇒それによる収益減からさらなる値上げという悪循環に入っている。また施設の老朽化や専門職員の高齢化による技術の継承の課題、甚大化する災害対応などますます厳しい状況になりつつあるため、広域連携と DX を利用した経営の効率化を追求し、なるべく利用者の負担を増やさずに収益改善をする必要性がある。	
内 容	・水道事業者が保有するデータに関するルールを定めるものが水道情報活用システム ・広域連携によるデータ収集をしてビッグデータ化することで横断的なデータの活用と設備の老朽化の把握、需要予測をする。 ・各事業者ごとの経営だとシステムは独自で構築することになるため、ベンダーの言い値での取引となってしまう。それがコスト増につながるため、ベンダーロックインの解消を目指す。	
成果等 (市に活かせること等)	上述した今後起きうる課題解決のためにはまず現在行っているような各事業者ごとの経営を見直す必要がある。水道施設台帳管理、水需要予測、運転監視制御業務などのシステムを広域での連携を図り、プラットフォームを作ることによる経営の効率化、コスト削減、AI の活用による設備管理など大和市だけでなく他市、さらには神奈川県にも密接にかかわることであり、将来的に進めていくべきであると考えている。	
事業費	21,512 円 ※情報交換会参加費は無料	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

政務活動費調査研究報告書

提出日 R7・2・25

事業名	開成町 こどもに関する各種データの連携による支援実証事業		
会派名	自民党・新政クラブ	報告者	西田恵美
参加者	西田恵美		
区 分	☐ ①研修 ☒ ②視察 ☐ ③広聴 ☐ ④その他 ()		

概 要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	2月10日10時～12時00分	開成町役場
目的 【どのような課題を解決するためかなど】	開成町では、各家庭が抱える問題を、行政等が保有するこどもに関するデータを連携することで、家庭の要支援リスクを判定、分析・可視化し、支援家庭の早期発見、早期支援につなげている。本市において、年齢や所属による切れ目のない支援を実施するためのヒントを得る。	
内 容	「開成町こども見守りシステム」は、町内のこどもに関する情報を一元管理し、リスク判定を行うことで潜在的な支援が必要なこどもを早期発見する仕組みである。専門職によるカンファレンスと併せ、本システムを活用することで、各機関と連携しながら切れ目のない支援を提供できる体制を整えている。	
成果等 【市に活かせること等】	視察を通じて、情報共有の仕組みの透明性やプライバシー保護の確保、関係機関間の情報連携の強化、運用にあたる人材確保と研修の充実など、子どものデータ連携を実施する場合の課題等が明らかになった。さらに学びを深め、今後担い手不足とDXが進むなかで、属人化しない子育て支援の仕組みを政策提案していきたい。	
事業費	4,426 円（旅費・手土産代）	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること